

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p> | <p>●研究の名称 当院の産後出血に対する新しい管理方針の効果に関する検討</p> <p>●研究の対象 平成29年11月から平成34年10月までに当院で分娩される患者さんと平成22年1月より平成28年12月までに、当院で分娩を行った患者さん</p> <p>●研究の目的 日本では、いまだ分娩時の出血が母体死亡原因の第一位を占めています。当院では2010年に日本で発表された「産科危機的出血への対応ガイドライン」をもとに、同年、麻酔科医と産科医、集中治療部、手術部が合同で、分娩時と分娩後の出血の管理方針を定め、定められた基準を満たした場合には、患者さんを産科病棟から集中治療部や手術室に搬送して、産科医だけでなく、麻酔科医も協力して、患者さんの治療に当たってきました。前述のガイドラインが2017年に改訂されことを受け、当院でも従来の管理方針を改訂しました。そこで、新しい管理方針に則って分娩時の出血を管理した場合に、分娩後24時間までの総出血量を減らすことができるかを前向きに検討することとしました。</p> <p>●研究の期間 平成29年11月から平成34年10月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p> |
| <p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p> | <p>●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、既往妊娠、分娩歴、カルテ番号、治療の経過で行われた血液検査の結果 等</p> |

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---------------------------------|---|
| 利用する者の範囲 | ●共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関はございません。 |
| 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 | ●研究責任者 浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室 秋永智永子 |
| 試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む） | あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。 |
| 資料の入手または閲覧 | この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。 |
| 情報の開示 | あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。 |
| 問い合わせ先 | 〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：医療安全管理室 担当者：秋永智永子 TEL： 053-435-2799 FAX： E-mail： |